

一般社団法人 日本応用地質学会
令和元年度・2019 年度
第6回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会(メール審議) 議事録

審議日：2020年3月3日(火)

一般社団法人日本応用地質学会 国際委員会委員の皆様

一般社団法人日本応用地質学会 国際委員会委員長 伊藤 久敏
(発信代行:幹事 山田 大介)

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は、令和元年度 第6回国際委員会として、メール審議をお願いいたします。

審議内容は1点で、学会誌に連載中の IAEG Bulletin 紹介シリーズについて、図表転載費用が高額になったことから、シリーズの継続方法に関する審議を行います。

下記事項をご確認いただき、下記のフォームで山田宛てに返信をお願いいたします。

(返信期限:3/6(金))

<令和元年度 第6回国際委員会(メール審議)回答>

審議事項1(Bulletin 紹介シリーズの継続方法)

: ()案

<審議事項1:IAEG Bulletin 紹介シリーズの継続方法について>

案1. 現在の形を継続する。

案2. 形を変えて継続する。

案3. その他:(ご提案あればお願いします)

※案2の具体案

- ・現在の形の IAEG Bulletin 紹介は、今回(No.16:茶石担当)で終了する。
- ・No.17以降は、第61巻の終わりの第6号(2021年2月)まで、あと5回継続する。
- ・個別の論文紹介は今回で終了とする。
- ・次回からはブリテンの各号の論文タイトル(40件くらい)の日本語訳、分野、国などを表にまとめて、どの分野が多いかや特に興味があるもの、といった簡単な感想を付ける。
- ・2ページ程度にまとめ、負担減のため内容の和訳はしない。

6月号(原稿内部締め切り:3月末) ブリテン 2019年11月号;開始の挨拶

8月号(原稿内部締め切り:5月末) ブリテン 2020年2月号

10月号(原稿内部締め切り:7月末) ブリテン 2020年5月号

12月号(原稿内部締め切り:9月末) ブリテン 2020年8月号

2月号(原稿内部締め切り:11月末) ブリテン 2020年11月号;終了の挨拶

審議結果：2020年3月10日(火)

先日のメール審議結果をご報告いたします。

<回答状況>

- ・案2 11名
- ・未回答 3名

審議の結果、案2が過半数を超えたため、本審議については案2を採用することといたします。

追加審議日：2020年4月15日(水)

メール審議結果(3/10)の追加検討事項について、下記①～②について、(1)か(2)のどちらを希望するか、山田までご返信下さい。

(返信期限:4/30(木))

基本的には、

案2(論文を全18分野に分類し、毎号どれか1分野(訳者の得意分野)に着目して紹介)、を採用。

その上での具体案の詰めが必要で、下記の①②について(1)(2)から決める。

<決定事項>

- ・対象号の全論文(30～40編程度)を全18分野に分類し、【著者・国】、【論文名(和訳)】、【分類】を整理して紹介する。
- ・そのうち、どれか1分野(訳者の得意分野)に着目して紹介する。

<要協議事項>

①訳者による紹介(要旨の簡易和訳)

- (1)当該分野の全論文(5～10編程度)
- (2)当該分野のうち、訳者が着目した1～数編のみ

②訳者コメント

- (1)あり
- (2)なし

追加審議結果：2020年5月12日(火)

<審議結果>

- ①(1)1名、(2)9名
- ②(1)9名、(2)1名

※未回答2名

審議の結果、次号以降は下記方針を採用することになります。

- ・対象号の全論文(30～40編程度)を全18分野に分類し、【著者・国】、【論文名(和訳)】、【分類】を整理して紹介する。
- ・そのうち、どれか1分野(訳者の得意分野)に着目して紹介する。

①訳者による紹介(要旨の簡易和訳)

- (2)当該分野のうち、訳者が着目した1～数編のみ

②訳者コメント

- (1)あり